

第74期 中間期

2020年4月1日 ▶ 2020年9月30日

株主通信

ごあいさつ



代表取締役社長
阿部 健治

皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、当社グループは2020年9月30日をもって第74期上半期(2020年4月1日から2020年9月30日まで)を終了いたしましたので、その事業の概況等をご報告申し上げます。

当中間連結累計期間(2020年4月1日から2020年9月30日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、企業収益は大幅な減少が続き、雇用情勢や設備投資も弱含みで推移しました。一方で、緊急事態宣言解除後は、経済活動のレベルを段階的に引き上げており、急減していた輸出入や生産も徐々に下げ止まりの兆しが見られる等、一部で景気の持ち直しが期待されるものの、米中貿易摩擦問題の長期化や新型コロナウイルス感染症の終息時期が見通せないことにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要販売業界であります石油化学、鉄鋼業界等におきましては、世界経済の悪化による影響を受け、自動車関連業界向けをはじめとして、合成樹脂や鋼材の需要が低迷し、生産設備の一時休止や生産調整を行う動きが見られました。設備投資におきましては、投資に対して慎重な企業も見られますが、生産性向

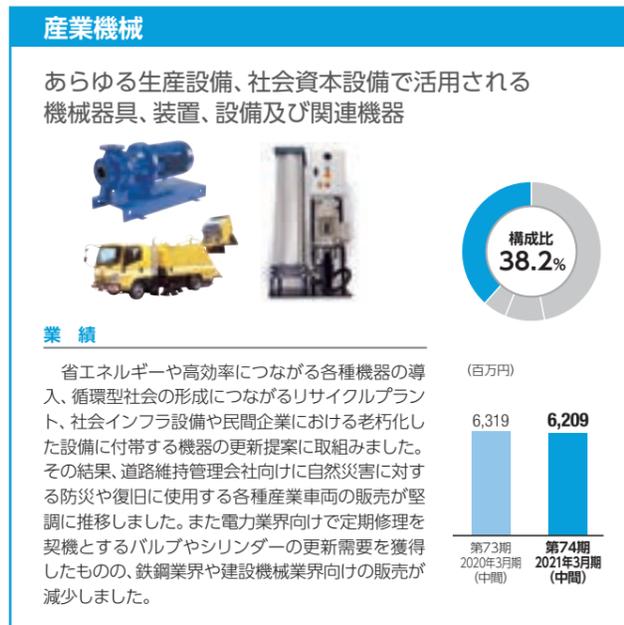
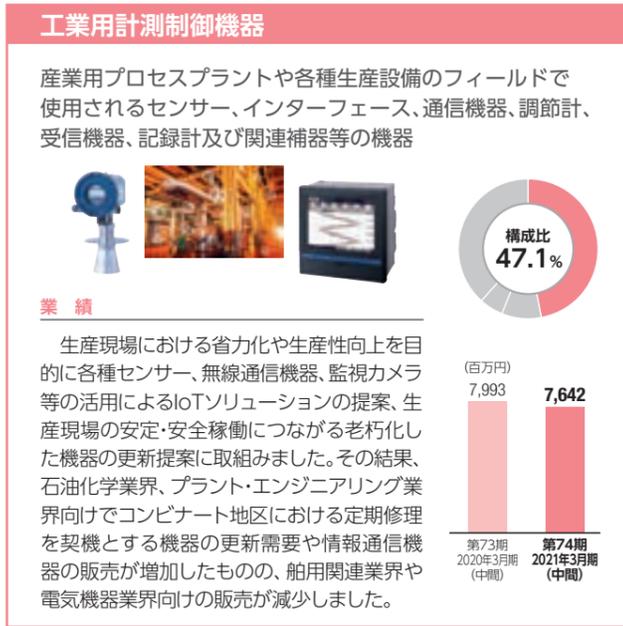
上や製造現場のデジタルトランスフォーメーション(DX)実現に向け、AIやIoTを活用した生産設備の自動化、各種状態監視機器やトレーサビリティ機器の導入、老朽化した生産設備に付帯する機器の更新等の検討は進められているほか、近年増加する自然災害に対する防災・減災対策に関連する社会インフラ投資等の需要は堅調に推移しています。

このような状況下、当社グループにおきましては、2020年4月より新中期3ヵ年経営計画をスタートさせ、経営基本方針「現場力と組織力の相互強化による更なる飛躍への挑戦」のもと、産業構造の変化と顧客ニーズに対応した強固な経営基盤作りを引続き推し進めてまいりました。具体的には、全国展開した営業拠点網をこれまでの営業組織よりも小規模な拠点に括る「ブロック制」で再編し、地域特性や市場特性により即した戦略立案とその迅速な実行を目指しながら、既存顧客の深耕営業による競争力強化と、成長性の高い分野への新規顧客開拓を加速させ、新たなビジネスモデルの創造に積極的に取り組んでまいりました。

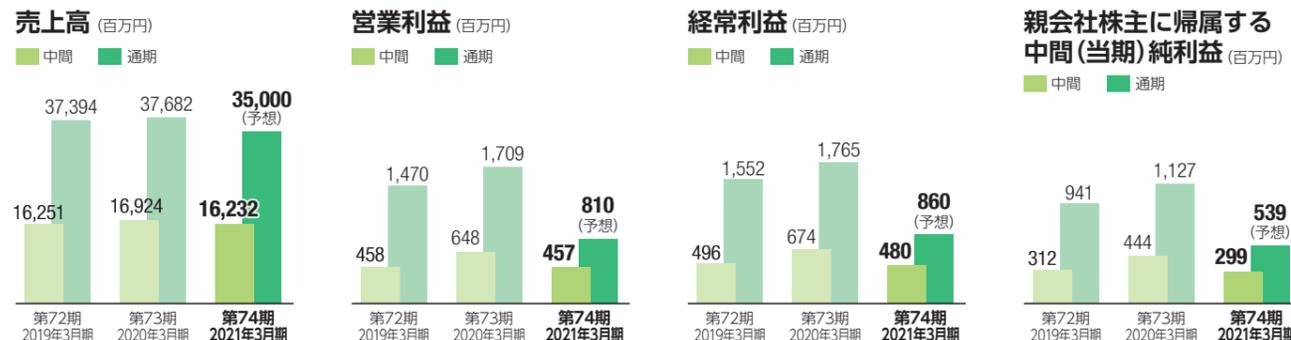
その結果、石油化学業界やプラント・エンジニアリング業界向けにコンビナートエリアでの定期修理に伴うリプレイス需要は堅調に推移しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から対面営業が制限されたうえ、景気後退による企業収益の悪化など設備投資に対する慎重な姿勢を受け、鉄鋼業界、自動車関連業界、建設機械業界向けを中心に販売が減少し、当中間連結累計期間の売上高は162億32百万円(前年同期比4.1%減)、売上総利益25億74百万円(同6.3%減)、営業利益4億57百万円(同29.4%減)、経常利益4億80百万円(同28.7%減)、親会社株主に帰属する中間純利益2億99百万円(同32.8%減)となりました。

今後も、更なる業績向上に邁進してまいりますので、引続き当社グループにご支援を賜りますようお願い申し上げます。

品目別売上高の状況



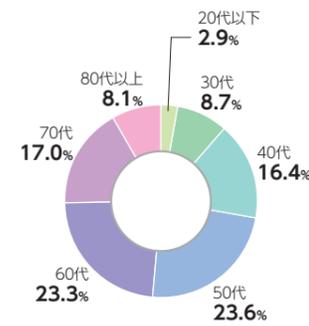
連結財務ハイライト



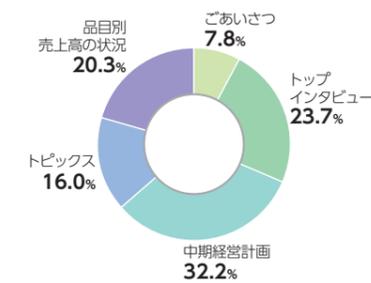
株主様アンケート結果のご報告

前回発行いたしました第73期株主通信に同封いたしましたアンケートにつきまして、604名の株主の皆様からのご回答をいただきました。(回答率14.1%)
心より厚く御礼申し上げますとともに、お寄せいただきましたご回答の集計結果の一部をご報告させていただきます。

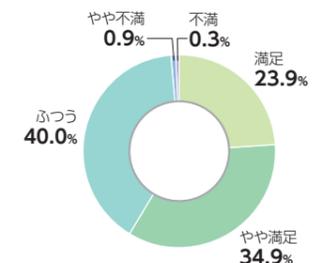
回答者のご年齢



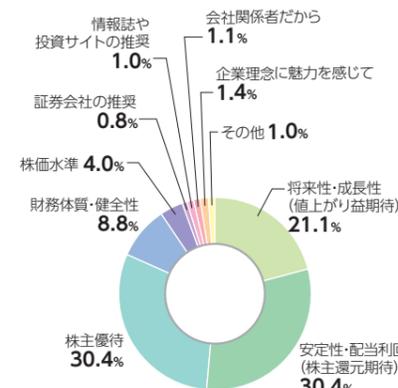
今回の株主通信でご興味を持たれた記事をお聞かせください(複数回答可)



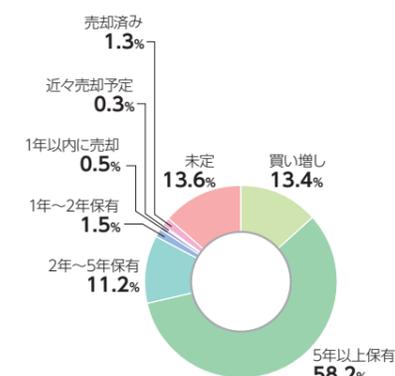
今回の株主通信の評価についてお聞かせください



当社株式を購入された際、最も重視されたことは何でしょうか



今後の保有方針についてお聞かせください



自由記述欄

当社に対する期待、応援のメッセージ、株価や株主還元に関するご意見もいただきました。

ご回答いただきましたご意見、ご要望等は今後の経営、IR活動の参考にさせていただきます。

今後とも皆様の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

TOPICS

コロナ禍における労働環境の改善につながる新たな取扱商品を提案

当社は、新中期3ヵ年経営計画の重点営業戦略の一つである「既存顧客深耕の強化による確固たる基盤の確立」のもと、顧客密着営業による現場ニーズに対応した新商材の発掘と幅広い商品提案によるクロス・セリングの推進に取り組んでおります。

この度、信越化学工業株式会社のグループ会社である直江津産業株式会社殿より防爆型スポットクーラー11台を初受注し、2020年6月にお客様へ納入致しました。この製品は、爆発3要素(着火源・爆発性ガス・酸素)の原因の一つである着火源とならないように、爆発や火災を防ぐ「防爆構造」の機能を有しており、爆発性雰囲気の可能性のある石油化学コンビナート等の防爆地域において、反応槽や充填場での作業時に期待されます。また近年猛暑日の増加や熱中症による健康被害が多く報告されており、コロナ禍における過酷な労働環境の改善にも寄与する新たな取扱製品として、お客様より高い評価を得ました。

今後も、全国展開したセールスネットワークを活用し、最新の技術動向や新製品情報に迅速・的確に対応することにより、コロナ禍におけるお客様のお困りごとやご要望に応じた最適な提案を実施してまいります。



■ 会社概要

商号 英和株式会社
(英訳名 EIWA CORPORATION)

設立 1948年6月29日
(創業 1947年6月15日)

資本金 15億3,340万円

従業員数 352人(連結)

本社 大阪市西区北堀江四丁目1番7号

東京本社 東京都品川区西五反田一丁目31番1号
(日本生命五反田ビル10F)

営業所 札幌、室蘭、秋田、六ヶ所、仙台、群馬、宇都宮、日立、つくば、鹿島、千葉、さいたま、川崎、神奈川、静岡、新潟、上越、北陸、名古屋、四日市、京滋、神戸、姫路、岡山、高松、広島、福山、徳山、新居浜、福岡、大分、熊本

出張所 和歌山、長崎

子会社 双葉テック(株)、東武機器(株)、英和双合儀器商貿(上海)有限公司

URL <https://www.eiwa-net.co.jp>

■ 役員

代表取締役社長	阿部 健治
取締役副社長兼営業本部長	阿部 吉典
取締役常務執行役員管理本部長	佃 雅夫
取締役執行役員営業副本部長	河野 督
取締役執行役員営業副本部長	玉置 崇久
取締役執行役員営業副本部長	加藤 信義
取締役	大熊 裕明
常勤監査役	萩原 典生
監査役	仲林 信至
監査役	藤田 傑

(注) 大熊裕明氏は社外取締役であります。
(注) 仲林信至氏、藤田傑氏は社外監査役であります。

■ 株主メモ

事業年度末日 3月31日

定時株主総会開催時期 6月下旬

基準日 3月31日
その他必要がある場合はあらかじめ公告します。

配当金受領株主確定日 3月31日
および中間配当の支払いを行うときは9月30日

公告方法 電子公告：当社ホームページ (<https://www.eiwa-net.co.jp>) に掲載。
やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
計算書類等については、金融庁ホームページEDINETに掲載しています。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

郵便物送付先 〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話お問合せ先 (通話料無料) 0120-094-777

※住所、氏名のご変更、配当金受取方法のご指定、単元未満株式の買取請求等のお手続きに関するお問い合わせ、お手続きに必要な書類等のご請求等は、お取引の証券会社までご連絡ください。
また、未払配当金については、上記「株主名簿管理人」までお問い合わせください。
※特別口座で管理されている株式に関するお手続きに関するお問い合わせ、お手続きに必要な書類等のご請求等は、上記「特別口座管理機関」までご連絡ください。なお、特別口座に関するお手続き用紙のご請求につきましては、下記のインターネットホームページでもご案内しております。

三菱UFJ信託銀行株式会社
インターネットホームページ▶ <https://www.tr.mufj.jp/daikou/>

■ 中間配当金

中間配当決議取締役会 2020年11月6日

中間配当金 1株につき5円 総額で31,644千円

支払請求権の効力発生日および支払開始日 2020年12月3日

■ 株式の状況

発行可能株式総数 20,710,800株

発行済株式の総数 6,470,000株

単元株式数 100株

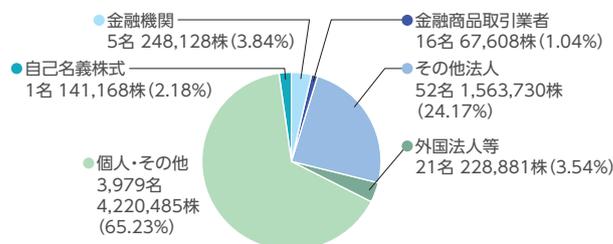
株主数 4,074名

■ 大株主(上位10名)

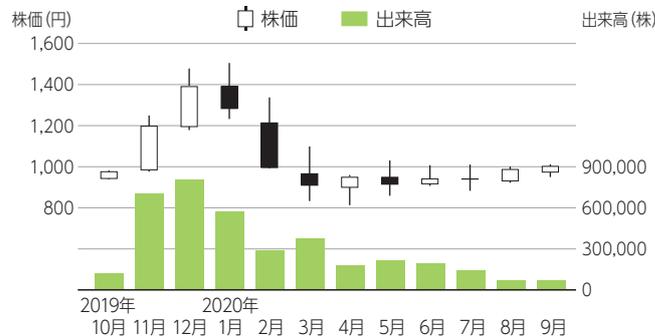
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
光通信株式会社	620,300	9.80
阿部 健治	269,680	4.26
東京計器株式会社	246,840	3.90
長野計器株式会社	206,600	3.26
阿部 和男	203,800	3.22
阿部 英男	170,766	2.70
株式会社百十四銀行	165,188	2.61
英和社員持株会	163,941	2.59
阿部 吉典	113,700	1.80
伊藤 信子	85,600	1.35

(注) 当社は、自己株式 141,168株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は、自己株式を控除して算出し、小数点第3位以下を四捨五入して表示しております。

■ 所有者別状況



■ 株価・売買高の推移



少額投資非課税口座(NISA口座)における配当等のお受け取りについて

新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関(証券会社等)を通じて配当等を受け取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要があります。
ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。
NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。